高齢者福祉施設等及び温浴施設のあり方について　② 高齢者福祉施設等のあり方について

目指す方向性　**生きがいづくりや社会参加の促進など一層の健幸づくりに向けた多世代交流機能・健康増進機能・介護予防機能を兼ね備えた拠点施設**

現　状

◆高齢者を取り巻く社会の動向

・今後、高齢化が急速に進行し、支援が必要な高齢者が増加することが見込まれていることから、誰もが住み慣れた地域で、自ら有する能力を生かし、生きがいをもちながら自立した生活を送れることが求められている。

・社会と関わりをもつことは、人と人との絆を生み出し、高齢者の生きがいづくりや介護予防にもつながるが、草津市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、「生きがいが思いつかない」との回答が３１．６％となっている。高齢者ができる限り健康な状態を維持し、介護や支援が必要な状態にならないようにするために、高齢者の生きがいにつながる社会参加や活躍の機会の充実が求められている。

・一億総活躍社会の実現に向け、高齢者も他の世代とともに地域を支えていくという視点に立ち、役割やつながりを持った高齢者があらゆる場面で活躍することが期待されている。

◆施設利用の状況

・施設利用者が減少傾向にある。

・来館目的は、温浴施設が 47%、次いで講座等の参加が 35%となっている。利用者の固定化もみられる。

・市民ニーズ調査では、約４割の方が施設を知っているが利用しないと回答しており、施設を利用しない理由は、「他にやることがある」、「興味がない」、「遠い」の順となっている。

・市民ニーズ調査では、施設への取り組みの充実について求めるものは、「講座・イベント」、「介護予防の取り組み」、「健康・生活相談」、「多世代の交流事業」の順となっている。

現在の事業展開

社会参加・仲間づくり 学習活動の促進
- バスツアー
- カラオケ大会
- 趣味・教養の講座
- ロビーコンサート
- 茶屋
- 離乳食レストラン・妊婦教室
- 防犯対策講習会
- ロビーギャラリー
- ボランティア講座
- 職場体験学習
- 企業連携型料理教室
- 男の料理教室
- 草木染教室
- ハンキング バスケット教室

多世代交流の促進
- 子育て支援コンサート
- 子育て支援イベント
- 地域ふれあい交流
- ふれあいまつり
- 親子お楽しみ会
- ハロウィンフェスタ
- 夏祭り子どもイベント
- 親子クッキング
- 親子陶芸教室
- リズム体操
- キッズバースディパーティ
- キッズけん玉クラブ
- 保育園・幼稚園連携事業
- 子ども実験教室
- 地域協働合校

健康づくりの促進 介護予防の推進
- 健康相談
- ラジオ体操
- いきいき百歳体操
- 糖尿病・高血圧予防料理講座
- 栄養改善講習
- 口腔機能向上講習
- 温浴施設の利用
- 陶芸教室
- 地域サロンの交流
- 健康体操
- 介護予防啓発講座
- 歌と音楽でわくわくトレーニング
- 骨密度・血管年齢測定

課　題

◇温浴施設をはじめ施設利用者は固定傾向にあり、新規利用者の取り込みが必要である。

◇健康づくりや介護予防の需要はあるものの、施設利用者は減少の傾向にあり、高齢者ニーズとの不一致が考えられる。

◇イベント講座への参加だけでなく、利用者自身が事業に参画する仕組みをつくるなど、施設を通じた交流や仲間づくり、地域でも活かせる生きがいづくりに発展させる必要がある。

◇子育て世代を対象とした事業を実施しても、高齢者との交流まで至っておらず、高齢者の知識や技能を活かした世代間交流に取り組む必要がある。

◇温浴施設等スポット的な利用が多く、介護予防等のイベントの参加に繋がっておらず、自らの健康づくり等に取り組む仕組みが必要である。

あんしんいきいきプラン委員会等でいただいた主な意見

・温浴施設の強みを介護予防に有効活用した戦略的な運営。

・ロクハ公園と温浴施設のタイアップなど他施設との連携。

・キッズルームは子育て世代には有効で良い取り組み。

・巡回バスのノンステップの導入や、免許返納の増加や健康にも考慮した、他の交通手段の充実。

・友人づくりを進める拠点、人とのつながりが持てる講座・イベントに力を入れるべき。

・温浴施設だけでなく温浴プールや、元気な高齢者向けの健康器具の導入など健康づくりの事業展開。

・多世代交流の観点から、市民全体が健康になる事業の展開。

・健康管理を意識したカロリーや塩分表示、メニューの提供。

・健康相談など介護予防や健康へのきめ細やかな事業の展開。

・公的機関が温浴施設を提供する意味を踏まえ、民間にはできない温浴施設とその他の取り組みとがより連動して効果が出るような事業の展開。

今後の事業展開（案）

市民の主体的な参加・参画に基づいた、人と人との出会い・つながりや健幸づくりを意識した事業の展開を図る。

1．高齢者の外出の機会が創出される　出かける！

・両館の個性を活かしたコンセプトを打ち出し、（なごみの郷は多世代交流、ロクハ荘は仲間づくり等）イメージアップを図る

・巡回バスにノンステップバスの導入を検討

・ロクハ公園との連携事業の充実

2．高齢者の社会参加の場を提供する　輝く！

・「ボランティア隊」等を立ち上げ、豊富な経験を活かした利用者による企画事業

・地域のボランティアや担い手育成、市民活動の発信の場

3．仲間づくりの輪を広げる　出会う！

・手作り市等の定期開催により、同好会やサークル活動を発揮できる機会の提供。サークル等の横のつながりへの拡大。

4．多世代の交流が深まる　つながる！

・高齢者が今まで培ってきた知識や経験を活かした子供向け事業の展開

・年齢に関係なく一緒に楽しむことができる文化・スポーツの実施

5．自らの健康づくりや介護予防が続けられる　健康！

・元気な高齢者に向けた健康づくり講座の開催

・温浴施設とその他の介護予防講座・イベントを連動させた事業の展開

・フレイル※予防等の個人へのアプローチ

・健康に配慮したレストランメニューの提供

・介護予防や健康増進にかかる情報の発信拠点

・認知症予防講座の開催

※フレイル　高齢者の身体機能や認知機能が低下して虚弱になった状態でほっておくと要介護状態に陥っていく。早期の介入・支援により生活機能の維持向上が可能である。「運動」「栄養」「社会参加」の三位一体による包括的な底上げが重要である。